

様式第 4 号

課題名	急性薬物中毒患者のコロナ流行前後における年代、性別、原因薬剤の比較
承認番号	2024-9 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部 氏名 岡本 祥史
研究期間	(西暦) 2024 年 10 月 ~ (西暦) 2024 年 10 月
研究の意義・目的	近年、医療機関を受診しなくても容易に入手することができる市販薬の、若年者における急性薬物中毒が社会問題となっています。 横浜市立みなと赤十字病院における急性薬物中毒患者のコロナ流行前後での年代、性別、原因薬剤の比較を行うことで、近年の薬物中毒の傾向と問題点を明確にして有効な対応策を考案することができる可能性があります。
研究の方法 (対象期間含む)	・対象期間 2018 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日、2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までを対象期間とします。 ・対象となる患者様 研究対象期間に、当院を受診し急性薬物中毒の病名のついた入院・外来患者様を対象とさせていただきます。研究への参加拒否の申し出があった患者様は対象外とさせていただきます。 ・研究の方法 本研究の対象となる患者様の電子カルテより、研究で使用予定のデータを抽出します。対象とする患者様は約 550 名を予定しています。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	・本研究にて使用される情報は、本研究の研究会での成果発表のみに用います。 ・個人情報と利用する情報を研究用の番号で対応させ、患者様を特定出来る個人情報 は研究用のデータと切り離して利用します。研究期間終了後は全てのデータを削除致します。 ・他の機関への情報の提供はありません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	利用する情報 電子カルテに記載のある以下の情報 ・年齢(年代で集計) ・既往歴 ・過量内服したとされる薬剤の種類
試料・情報を 利用する者の範囲	研究責任者(岡本 祥史)のみで利用します
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部 岡本 祥史
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 薬剤部 氏名 岡本祥史 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101